服と暮らし NO.120

クリーニングの紺新
魚沼市堀之内 4093
TEL*025-794-2170
公式 HP

季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

ポリウレタンの弱点を攻略して寿命を延ばそう！

最近、ポリウレタンが使われているアイテムのトラブル相談が増えています。ポリウレタンは多くの衣類に使われている素材で、下着やスポーツウェア、ストレッチ性のある洋服など、身に着けない日はないと言い切れるくらい、生活に欠かせないものです。ポリウレタンは、優れた繊維である反面、日常生活のあらゆる刺激で劣化してしまうというのが最大の弱点です。適切なケアをすれば寿命を延ばすことができるので、覚えて実践してみてください。

メリット
▷伸縮性が高く、ゴムの5～10 倍ほど伸びる力と、元に戻る力がある
▷しなやかで体にフィットするため、ストレスのない着心地を生み出す
▷伸縮性のない繊維と混紡することでストレッチ性のある生地にすることができる
デメリット
▶製造されてから2～3年で劣化するため、寿命が短い(未使用でも劣化する)
▶水(湿気)・熱・紫外線に弱く、それらの環境条件により劣化が早まる

ポリウレタンは水に弱いため、長時間濡れたままにしておくと加水分解により劣化してしまいます。濡れたときは、すぐに乾いた布でふき取りましょう。早く乾かすために乾燥機にかけたり、日当たりのいいところに干したりするのは NG！ 熱や紫外線はなるべく避け、日の当たらないところで、扇風機やサーキュレーターを使って短時間で乾かすのがおすすめです。コート、ジャケット、レインウェアなどは、防水スプレーや撥水ガード加工で表面をコーティングしておくと、水分からポリウレタンを守ることができるため、長持ちします。着用頻度が高いものは、数回着用したらしっかり洗って汚れを落とし、再度コーティングすると効果的です。

保管時にも水・熱・紫外線から守る必要があるため、除湿剤や除湿機を活用して湿度を下げ、光が当たらないようにカバーをかけるか、袋に入れておくと安心です。(※湿気がこもらないよう、通気性のよいものを使ってください。) 大事にしすぎてしまいっぱなしにするのも逆効果なので、ときどき点検を兼ねて適度に着用し、その都度手入れをしてから保管するようにしましょう。

「ほかのクリーニング店で断られてしまって…こちらで洗えますか？」とお持ち込みいただいた、リユースショップで購入したというアウトドア用の機能性ジャケット。裏面のポリウレタンコーティングが剥離し始めていました。(イメージ写真参照) 修復はできず、剥がれたものがほかの衣類に付着する可能性があるためクリーニングも不可。その旨を説明し、お断りしました。「知らずに買ってしまったけど、いい勉強になりました」と納得していただきました。 同様の相談が増えているので、みなさんも購入時には気をつけてチェックしてくださいね。

ひび割れて剥離したポリウレタンコーティング

営業案内 (赤い日は休業日)

11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

OPEN*9：00-CLOSE*19：00
7 日(土) 都合により 17:00 閉店
19 日(木) 都合により臨時休業
23 日(月) 9:00-17:00 特別営業
休みや営業時間は変更になることがあります

脱いだあとのひと手間で、アウター長持ち☺

寒さが厳しくなり、ジャケットやコートが手放せない時期です。軽くてあたたかいフリースやボア素材のアウターは、世代を問わず人気ですね。起毛素材は生地への圧迫や摩擦で毛並みがつぶれてしまうことがあります。完全につぶれてフェルト化すると元に戻らなくなるため、脱いだあとに**ブラッシング**をして毛並みを整えておくのがおすすめ。リュックやショルダーバッグの肩紐、シートベルトが当たる部分は特に念入りにブラッシングしましょう。**アイロンのスチーム**を当てることで、ふんわり毛並みが戻ることもあります。スチームには殺菌・消臭効果もあるので、こまめに洗うことのできないアウターにおすすめのホームケア。毎回は無理でも、気づいた時にひと手間かけることで衣類が長持ちしますよ。

“服と暮らし”の内容をラジオで解説しています。月1回、**木曜日の朝・昼・夕**の放送です。放送スケジュールは**エフエムうおぬま(81.4MHz)**のホームページや SNS をご確認ください。